

第1部

ポートアイランド各エリアの課題と取り組みの方向性

令和6年度の取り組み報告

リボーンプロジェクト進捗と次なる展開に向けて」

「PORTOPIA DESIGN WALK 2024」から市民提案に向けて

[登壇者]

藤村 龍至 | 東京藝術大学

PIリボーンプロジェクト・これまでの取り組み

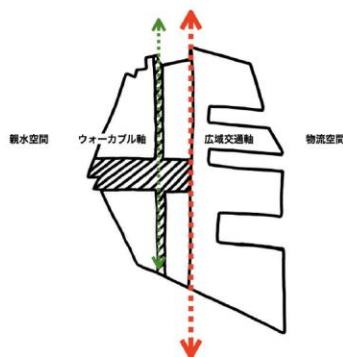
PIリボーンプロジェクト (2022(令和4)年度)

ポートアイランドの可能性を再発見してアクティブ化する



ポートアイランド (物流の島) から パークアイランド (人の島) へ

まちびらきから約40年が経過し、まちの成熟とともに賑わいの創出が課題となっているポートアイランドの活性化に向けまちの将来ビジョンの検討を進めています。建築家・東京藝術大学准教授でポートアイランドの研究者でもある藤村龍至より、都市空間のコンセプトやそのイメージ等、都市がめざすべき空間像について提案を行っています。



PIリボーン・シンポジウム

神戸市の検討内容及び藤村からの提案について広く市民や企業等の皆様に周知しPIのこれからのまちづくりを共に考えるきっかけとして開催

- (1)日時: 2023年3月13日(月)
- (2)場所: 神戸国際会議場国際会議室
- (3)参加: 会場・オンライン併用
会場参加78名・オンライン参加130名
計208名参加

PIリボーンプロジェクト (2023(令和5)年度)

13団体・160名以上との意見交換



まち歩きスタディ

島内のパブリック・スペースを中心に有識者と共にまちを歩き、まちの課題や将来像の方向性を意見交換するワークショップ

日時: 令和6年2月10日(日) 参加者: 約50名



PIリボーン・シンポジウム (2024年3月)

港島自治連合協議会/神戸学院大学/神戸ポートピアホテル/八十島プロシード神戸支店/交友印刷



港島自治連合協議会での意見交換

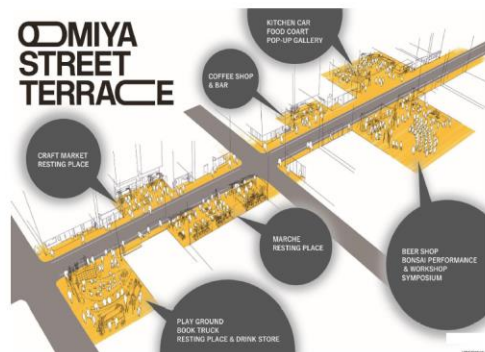
「街歩き点検隊」への参加

PIリボーンプロジェクト・深度化の方向性

3つのキーワードをもとに政策の方向性を整理

1_ストリートマネジメント

生活面での課題を都市利便増進協定に基づく
街路・沿道の一体利活用によって解決



2_アクティブデザイン

高齢化・生産性の向上などの課題を
公共空間の「アクティブ化」によって解決



3_自然を基盤とした解決策

(Nature-based Solutions: NbS)

防災・エネルギーなどの課題をグリーンを用いて解決

ストリートマネジメント

大学地域連携強化

コンベンション活性化

2期進出企業環境向上

自然を基盤とした解決策

緑陰のある滞在空間の創出

緑化滞在空間創出

アクティブデザイン

住宅団地課題解決

ファッションタウン活性化

医療産業都市情報発信

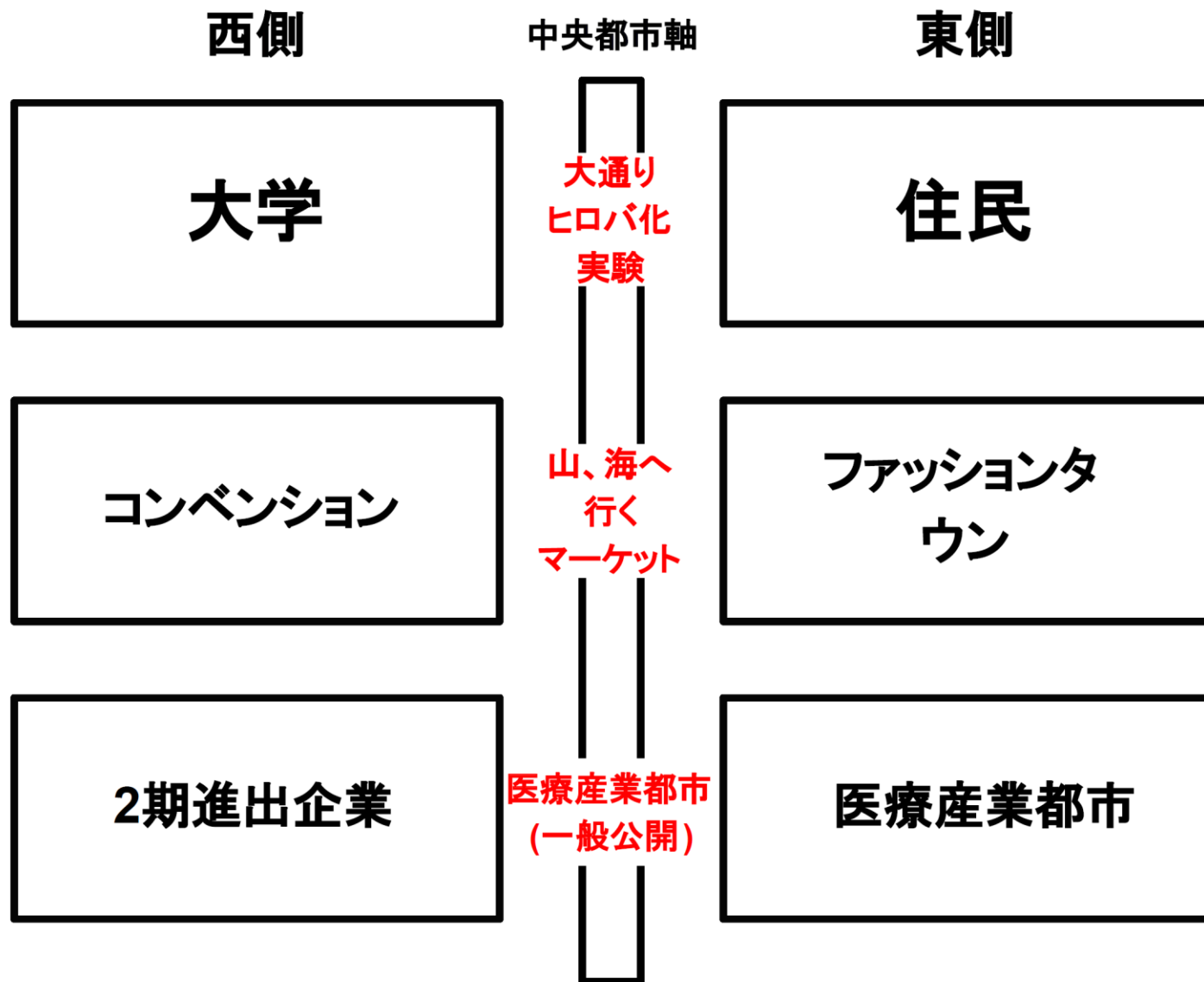
歩行者空間拡大

マーケットの開催



ポートアイランド内のコミュニティへの働きかけ

港島内には概ね 6つのクラスタがあり、中央都市軸で社会実験を行うことで全クラスタに働きかける



エリアマネジメント体制の構築へ向けて

2つの実験「ポートピア大通りヒロバ化実験／山、海にいくマーケット」でコミュニティに働きかけ

PORTOPIA '24

ポートアイランドの南北を貫く「ポートピア大通り」とファッションタウンの入口にある「市民広場」をつなぎ、住民や企業の皆様と一緒に緑溢れるウォーカブルな公共空間を創り、地域の課題解決を図る試みを行います。

PORTOPIA

2024年11月3日(日) 11:00—16:00

DESIGN

1 2

「市民広場」

「ポートピア大通り」みなとじま駅付近

1 2

PORTOPIA

2024

WALK

実施場所 ポートピア大通り[みなとじま駅付近]——市民広場

主催—神戸市、事務局—RFA（アル・エコー）とまちデザインスタジオ
協力—神戸ポートピアホテル、交通印刷・C-farm、まちライブラリー-みなとじま
企画協力—det architects

1

PORTOPIA

2024

DESIGN

WALK

2

PORTOPIA

2024

DESIGN

WALK

1

ポートピア大通りヒロバ化実験

●ポートピア大通りと緑道を一体化し、活性化を試みる実験です。

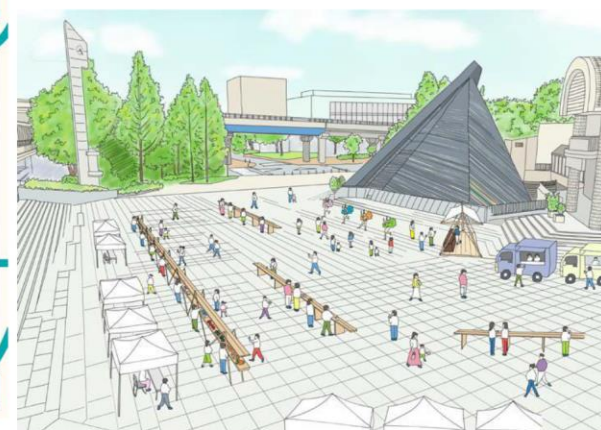
INFORMATION 日 2024年11月3日(日) 11:00—16:00 交通規制の時間は10:00—18:00
※「ポートピア大通り」みなとじま駅付近(南行方向)と緑道エリア
※地元住民によるパフォーム・ダンス(パレード)や、ハンドメイド販売・古本リユースなど
※まちライブラリー-みなとじまによる絵本販売・読み聞かせ「まちライブラリー-みなとじま」
防災グッズ販売・体験コーナー・地元産物・キッチンカーなどによる飲食提供など

2

山、海へ行くマーケット

●神戸市内・近郊のコンテンツがポートアイランドに集うマーケットイベントです。

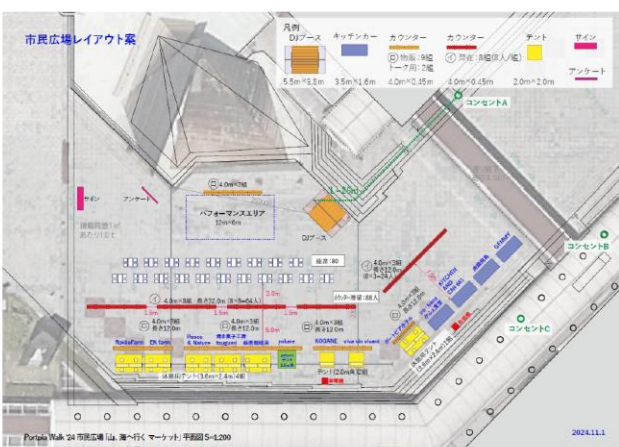
INFORMATION 日 2024年11月3日(日) 11:00—16:00
※市民広場内 モニュメント広場
※神戸市内・近郊の生産者等によるマーケット 神戸市の建築家によるトーク「建築家会議」など
サンバパフォーム・ダンス(パレード)の合奏を聴いてサンパ(音楽)します。DJによるサウンド演出など



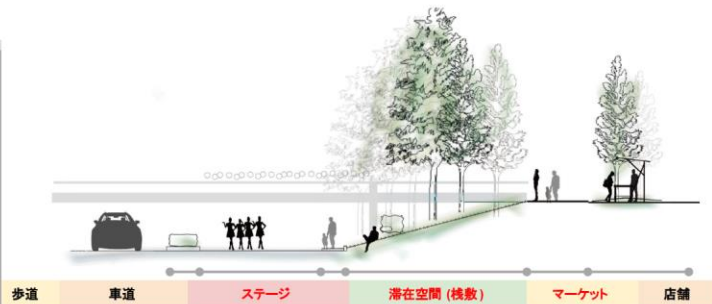
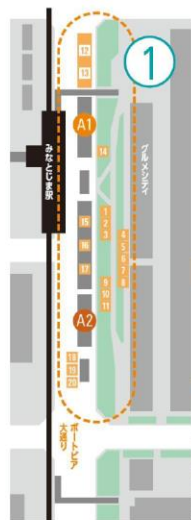
日時 2024(令和6)年11月3日(日) 11:00-16:00 イベント実施時間。設営・撤収を含む交通規制時間は 10:00-18:00

場所 ポートピア大通りおよび中央緑地軸
市民広場(モニュメント広場)

山、海へ行くマーケット (市民広場)



ポートピア大通りヒロバ化実験



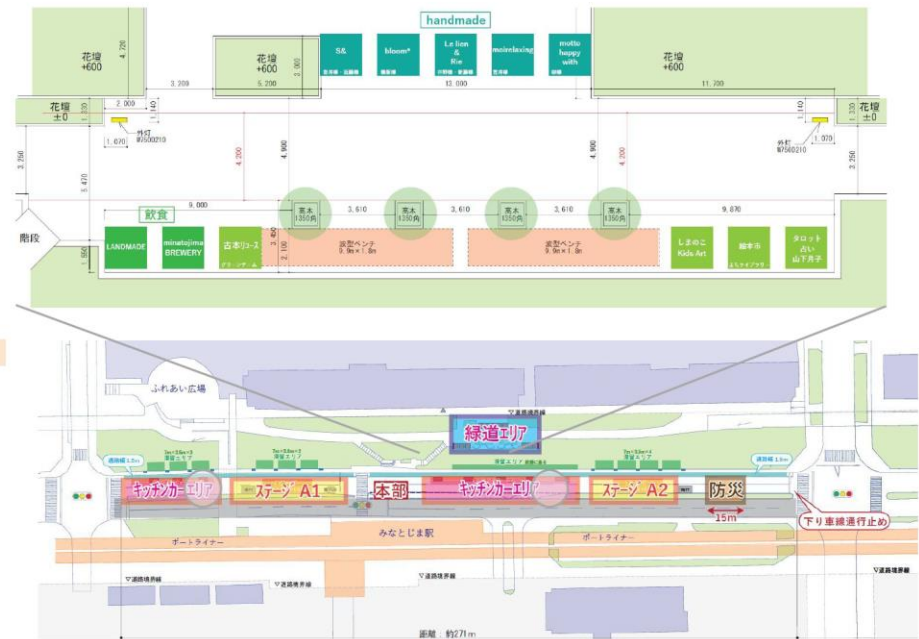
歩道 車道 ステージ 滞在空間 (株敷) マーケット 店舗

実験A: 人中心の空間の創出 @ポートピア大通り
道路使用許可 交通管理等/道路占用許可 道路管理
キッチンカー(移動店舗) パフォーマンス など

実験B: 居たくなる空間の創出 @中央緑道
道路使用許可 交通管理等/道路占用許可 道路管理
ストリートファニチャー(ベンチ・イス等) テント(飲食・物販店舗) など



道路使用のイメージ
住民(高齢者・家族連れ・学生を含む)が外へ出かけたくなる仕掛け パフォーマンス・本・コーヒー・ビールなど



ポートピア大通りヒロバ化実験

サンバパフォーマンスに込められた意味

市民広場からポートピア大通りの2つの会場、3つのステージで連続して行うサンバのパフォーマンス。色とりどりのダンサーがバンドの演奏と共にまちと一体となった空間を作り、まちの東西の分断の象徴であった大通りが、お互いをつなぐ架け橋となった。

緑道に大きく育った緑陰のもと、緩い法面で佇みながら街路と沿道が一体となったストリート空間は複雑な許認可と協議の賜物であった。ポートアイランドの南北を貫く幹線道路の片側2車線を交通規制し、ストリートのパフォーマンスを法面の樹間から眺められるよう事前に道路管理者(建設局)と協議し枝を払い、交通管理者(警察)との協議により斜面を含めた道路使用許可を得て実現した。

この大通りは宮崎市長時代の基本設計当時、三宮のフラワーロードで開催される神戸まつりで行われるサンバを眺めるようなシンボル軸にしたい、栈敷席のような斜面をつくろうと構想されたものだそうで、構想から50年、初めてイメージされていた通りの断面の使い方が実現した。

道路も法面も樹木ももともとはそこにあるものだが、使う機会が設定されていなかったために、それらのポテンシャルが想像できなかった、都市空間のひとつの典型例なのかもしれない。今回、複雑な許認可や協議を経て、ふだん再現できないような光景を作り、住民の皆さんと共有できたことはひとつの達成であった。(藤村龍至)





今後の予定

秋ごろ

社会実験(中央都市軸)

R8年3月末までに

市民提案まとめ(神戸市に提出)